

平成29年9月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成29年9月22日(金)

II. 開会及び閉会  
開会 13時25分  
閉会 15時34分

III. 出席委員

教 育 長	柴 崎 伸 次
委 員	淵 本 晴 生
委 員	川 島 ゆ か
委 員	片 山 工
委 員	井 手 康 人

IV. 出席職員

教 育 次 長	近 成 昌 行
総務学務課長	青 山 祐 志
総務学務課参事	松 田 典 久
社会教育課長	馬 場 昌 一
図書館長	嶋 田 学
総務学務課総括主幹	松 本 総
総務学務課係長	安 井 明 子
総務学務課主幹	山 本 三 千 代
総務学務課主査	土 井 浩 揮

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

柴崎教育長

- 第72回国民体育大会瀬戸内市激励会について(9/21)
- A L Tの交替について
- 邑久幼稚園PTA要望について(9/12)
- 議会関係
  - (1) 学力・学習状況調査

- (2) 生徒指導
- (3) 安全対策等
- (4) 邑久学校給食調理場関係
- (5) 文化関係 他
- 台風18号被害（近成次長説明）
- 邑久中学校関係（松田参事説明）

### 3. 前回会議録の承認

署名委員 淵本 晴生 委員 井手 康人 委員

### 4. 議 事

柴崎教育長 議事進行

第53号議案 臨時職員採用等について

青山課長 (資料を基に説明)

全委員 <異議なし>

柴崎教育長 非公開審議を開始することを宣する。

第54号議案 準要保護児童生徒の認定について

< 非公開 >

柴崎教育長 非公開審議を終了することを宣する。

第55号議案 学力・学習状況調査結果について

松本総括主幹 (資料を基に説明)

井手委員 授業の魅力については、どのように考えているのか。

松本総括主幹 夏休みに若手教員で研修を行った時に、やってみたい、知りたいと思うことが授業の中で出来ているのだろうかという意見があった。もしかしたら子ども達ができ、理解できたということだけで進めているのではないか。子ども達は知っていることからかけ離れていると興味が無い。知っていることの少し上を目指していくで、子ども達がやってみたいと思える授業づくりとなり、魅力に繋がるのではという話をした。

- 松田参事 授業づくりについては、自主的な研修として、まなび塾を昨年度5回、今年度10回、放課後の時間を利用して行っている。また、今年度からキャリアステージの研修として4校を指定し、若手教員を中心に年3・4回、授業研究を行っている。指導案の作成から授業の展開まで、魅力ある授業について結果も踏まえながら、学校と一緒に取り組んでいる。
- 井手委員 それは、教科ごとに行っているのか。
- 松田参事 小・中学校全部の教員を対象としており、教科を超えて行っている。先生方は他の教科の授業を見ることで自分たちとの接点を探したり、グループとなって話し合いを深めたりしている。
- 井手委員 その中に体育や美術などもあるのか。
- 松田参事 若手の先生の中で希望があれば一緒に研修を行っている。
- 松本総括主幹 美術については、指導教諭として授業公開を2回お願いしている。おもしろい授業や魅力のある授業は教科を超えてあると思う。
- 川島委員 良いと思ったことで他の学校に共有しているものについて教えて欲しい。
- 松本総括主幹 生徒自身がどの教科においても、どこまでしたのか、活動内容のゴールが分かるように、牛窓・邑久・長船の3中学校において様々なためあての組み立て方について共有した。
- 井手委員 こういった研修は他の市では取り組まれているのか。
- 松田参事 この近辺では瀬戸内市のみである。2年前から取り組んでいるが、勤務時間外となるため、各市もなかなか実施できていないのが現状である。
- 淵本委員 課題とためあての違いも大事だが、まとめと振り返りの区別をつけることも大事である。振り返りは、自分の姿を客観的に認知することであり、子ども達がまとめと振り返りがきちんと書けるかどうかは、先生方がその区別ができるかどうかである。また、授業のタイムマネジメントがきちんとできていないと、子ども達はまとめと振り返りができない。そうなれば書く力が身に付かない。日々の授業の中でまとめと振り返りの書き分けができるようになるためには、先生が子ども達をどれだけ見ているかが重要になる。また、授業は、子どもの感情を考えないでいくと理解が深まらない。子どもの気持ちを掴んで授業することが大事なので、授業は子どもの感情の上に乗っかって進んでいるということを考えてやれば、成績がもっと上がっていくのではないかと思う。でも、一番大事なのは、子どもの意欲である。
- 片山委員 子どもが勉強することが楽しいと思わないといけない。点を上げることが目的としてしまうと、子どものやる気が無くなってしまうので、そうならないように工夫することが大事である。
- 井手委員 この取り組みは期間としてはどれくらいを目標とされているのか。こ

れから5年とか10年とか続けてある程度結果を出すなど、具体的なことは考えているのか。

松田参事 学力を上げるために実施している訳ではなく、若手教員の育成として行っているので、学校のニーズに応じながら続けていけたらと考えている。

井手委員 もし、この取組を実施していい結果が出るのであれば、そのデータを公表することにより、現在の学校における体制が、良い方向に転換されるかもしれない。そのためにはある程度の結果を公表していくことが必要なのではないかと思う。

## 5. その他

- 奨学金貸与月額改正（案）について
- 幼稚園の給食費について
- 遠距離通学費補助制度について
- 就学援助費の一部の入学前支給について

近成次長 (資料を基に説明)

- ・瀬戸内市立美術館で開催される展示会『小林白汀展』(9/9～10/15) 及び『緑川洋一展』(10/21～12/10) について

馬場課長 (資料を基に説明)

- ・第7回もみわセミナー『ディラード・ソフィーが見た“世界の中の瀬戸内市”』(10/7) 等について

嶋田館長 (口頭で説明)

## 6. 閉 会 (15時34分閉会)